

【学校教育目標】 夢に向かって 自ら学ぶ 豊かで たくましい生徒

黒西中だより

<http://kuronishichu.style.coocan.jp/>

心のホット相談室

TEL 048-768-5454

TEL 048-764-1110

第 5 号

令和元年 9 月 1 日

生徒数	1年 93名	3学級
	2年 104名	3学級
	3年 105名	3学級
合計	302名	9学級

人は人中 田は田中

学校長 宗方 健二

猛暑と大雨を繰り返した夏休みが終わりました。夏休み中は、防災キャンプ、学習会、小学校での学習ボランティア、蓮田市の未来を語る子ども議会、オーストラリアでの国際親善訪問派遣事業、東部地区吹奏楽コンクール、中学校体育連盟の全国大会への参加、入賞など多くの活躍がありました。この夏休みを経て、さらに成長した姿をうれしく思います。今日から2学期です。たくさんの学校行事が計画されています。仲間を意識し、集団を高める気持ちでがんばってほしいと思います。



さて、標題の「人は人中 田は田中」ですが、どのように読むのでしょうか。「ひとはひと、なかたはたなか」と読んでしまうと何をいっているのかわからなくなってしまいます。この読み方は、「ひとはひとなか、たはたなか」と読みます。田は、周りを田に囲まれて育つそうです。そして、田に囲まれた真ん中の田が、一番稲が育ち、収穫もよいといったことわざです。周りの田が枯れてしまうと、調和が崩れ、しっかりとした稲が育たず、やがて田がかわってしまうそうです。田は、田の中でこそ生きて育つのだそうです。これが『田は田中』と言われる所以(ゆえん)です。このことから『人は人中』という言葉も想像できると思いますが、「人は人の中でこそ育つ」という意味です。家族はもちろん、仲間や地域のおじいさん、おばあさん、いろいろな人とたくさん触れ合う中で、社会性や規範意識が生まれ、健やかに成長することができるのだと思います。

4月から新たな学級の仲間と過ごす中、子どもたちは、互いに触れ合い、関わり合うことで、楽しいことばかりではなく、様々なトラブルや試練に出会っています。しかしながら、このようなトラブルなどに出会う、その時こそが、子どもをさらに成長させる絶好の機会なのだと思います。学校では、出会うトラブルをどのように解決したらよいのかをじっくり考えさせ、少しのことではくじけない強い心を育み、試練を自分の力で、そして仲間とともに乗り越える力を身につけるよう助言をしていきたいと考えています。「人は人中」、よりよい集団は、さらによりよい集団をつくります。人との関わり方を一緒に学びながら、夢に向かって、大きく、たくましく育てていきたいと思っています。黒浜西中生の2学期の活躍を期待しています。